◀港北小学校校舎
改築に着手します。

◀古丹浜地区−10.4mの浚渫を
図り、大型船舶に対応します。

▶神居岩ロッジを
建設します。

▶在宅福祉サービス
を充実します。
（給食サービス）

セントの伸び率です。

次に歳出ですが、目的別では土木費が二五億一〇四八万円で一般会計総額の一八・七パーセントを占め、次が民生費で二〇億八三一五万円、構成比は一五・五パーセント、さらに教育費が七億六六四五万円で構成比は五・七パーセントになっています。

続いて主要施策の概要についてお知らせします。

産業の振興と活力ある地域経済づくり

港湾機能の整備と利用拡大については、本年度は「第八次港湾整備五箇年計画」の初年度にあたり、西防波堤の延長、三泊地区土砂処分護岸工事の実施と古丹浜地区マイナス一〇メートルの浚渫を図り大型船舶に対応できるようにします。また、南岸地区岸壁改良事業に着手し、さらに臨港道路造成のための調査、塩見地区緑地整備事業の促進を図ります。さらに、留萌港利用促進協議会機能の充実を図り、積極的にポートセールスにとりくみながら留萌港の利用拡大に努めます。

企業誘致については、企業の動向を把握するとともに、関係機関、団体と緊密な連携を図り、港湾機能の充実にあわせた企業の立地や関連企業の誘致に努め、あわせて、用地の造成や融資・優遇制度についても検討をしてまいります。

農業の振興については、基幹作物である水稲の生産性を高めるため、土地改良事業の実施、生産基盤の整備や土壌づくりなどを行います。また、特産品として定着しつつある軟白長ネギの生産性を高め、販路の拡大に努めます。肉牛についても、種畜の更新を行うとともに、優良基礎牛の導入を検討してまいります。

水産業の振興については、沿岸漁業の生産の向上を図るため、沿岸漁場の開発と栽培漁業の推進を図ります。また、礼受漁港修築事業と三泊漁港局部改良事業を実施してまいります。

水産加工業については、水産加工振興三箇年計画に基づき、輸入水産物に関する情報収集や各種調査事業を行い、さらに、留萌ブランドの形成と消費拡大を図ります。

商業の振興については、留萌市商業近代化推進協議会との連携を図り、商店街の活性化対策、消費の増大、販路の拡大などに努めます。

雇用の安定については、留萌市雇用対策協議会や各関係機関と連携を強め、人材確保・育成に努めます。また、勤労者の生活安定と定着を図るため、勤労者福祉融資制度の改善に努めます。

観光の振興については、黄金岬、浜中、千望台、神居岩地区を核とした一層の施設整備を行います。また、イベントなどの定着化を図り、「見る観光」から「滞在する観光」へ移行し、観光客の誘致に努めます。本年度は、特に神居岩地区の施設整備をし、四季を通して集客の核となる休憩施設の建設をします。

すこやかで、思いやりのある福祉社会づくり

健康で明るいまちづくりについては、各種検診体制の強化、指導者の養成、成人病対策の強化、健康教育、健康相談などの充実に努めます。また、市立総合病院の診療、看護体制の充実強化と医療機器などの整備を図り、公的医療機関としての機能を高めるとともに、病院の整備計画について検討してまいります。

ふれあいのある地域社会づくりについては、行政と地域社会が一体となった活動を通して、ノーマライゼーション思想を図り、明るく活力ある福祉社会の実現に努力してまいります。また、高齢者福祉対策として、留萌市高齢化社会対策推進計画を実行し、生活基盤や社会参加の促進を図り、緊急通報システムの導入、痴呆性老人に対する扶養手当制度の拡大、在宅福祉サービス事業の充実など、高齢者にむけての福祉ネットワークづくりをすすめ、生涯を通じて健康でいきいきと暮らしのできる福祉体制の確立をめざします。

コミュニティの形成については、住みよいまちづくりをすすめるために、自治省が新たに創設した「コミュニティ活性化地区」に指定されたのを契機として、本市のコミュニティ活動をさらに活発化にいたします。また、町内会の負担軽減を図るため、町内会運営交付金助成の引き上げを実施いたします。

平成3年度　会計別予算額

※1万円未満は四捨五入

区		予算額
一般会計		134億449万円
特別会計	国民健康保険事業会計	17億4,680万円
	老人保健事業会計	21億5,101万円
	港湾事業会計	1億4,683万円
	市場事業会計	1,554万円
	下水道事業会計	20億4,027万円
	観光施設事業会計	4,430万円
	駐車場事業会計	375万円
合計		195億5,299万円

▶平成4年供用開始をめざし
汚水管等の布設を進めます。